

船町地区・厄神地区 まちづくり通信

NO.5
2025.1

昨年度(R5 年度)、厄神駅周辺の利便性を活かした土地活用を検討するため、全 3 回の協議会を開催し、「まちづくり構想図(見直し案)」について検討しました。今年度は、「田園まちづくり計画実現化会議」と称して、引き続き、この構想図(見直し案)を基に話し合い、厄神駅前区域の有効な土地活用に向けて具体的な取り組みを検討します。

検討対象は、まちづくり構想に位置付けられた「駅前区域の特性を活かし、道路などの整備を前提として店舗等の導入を検討する区域」(以下、略称『駅前活用区域』とします。)です。

これら3か所の土地活用を進めるため、地元としての取組事項および具体的な取組内容を検討・整理します。そして、次年度以降、田園まちづくり活動の一環として、実現可能なことから順次、取り組んでいく予定です。

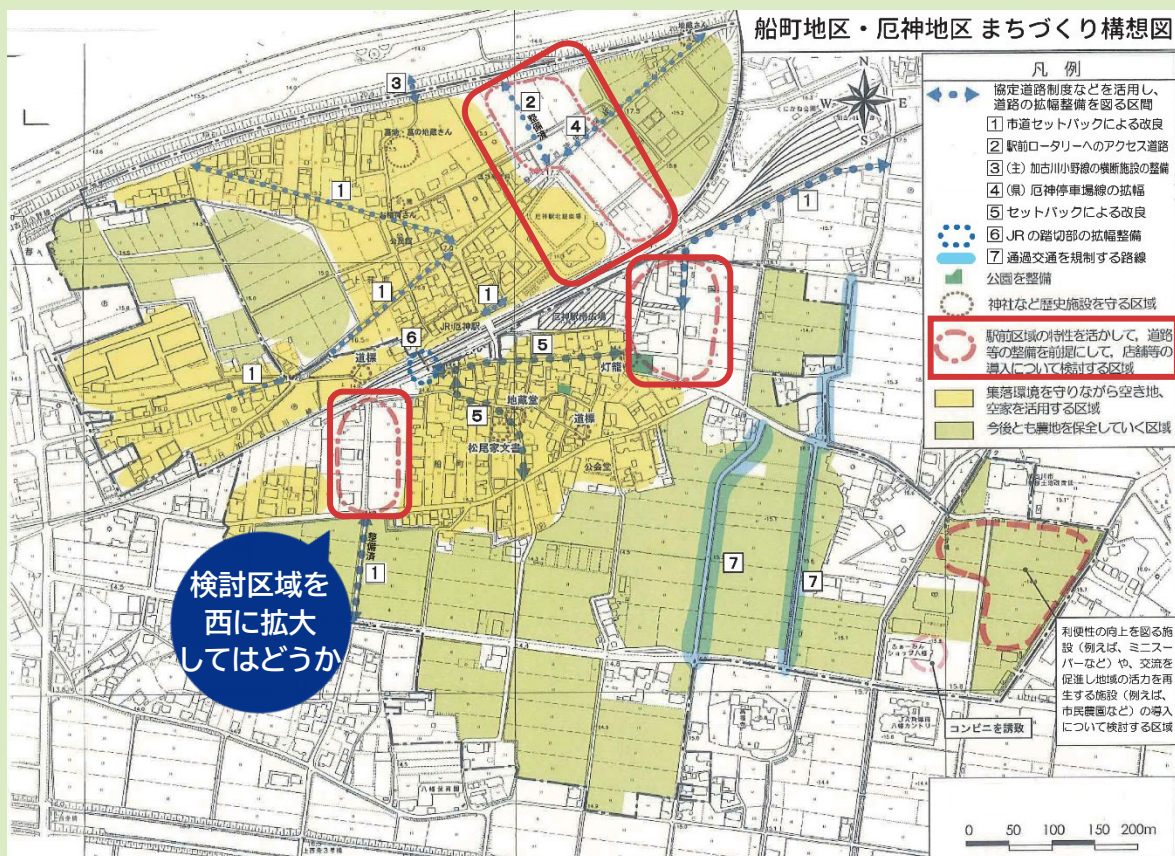


第1回目の内容は
裏面に記載しています。
ぜひ、ご確認ください。



(当日の様子)

昨年度(R5 年度)検討「まちづくり構想図(見直し案)」



検討対象区域

1月19日(日)に第1回 船町・厄神地区田園まちづくり計画実現化会議を開催し、「駅前活用区域」の活用方向について意見交換を行いました。以下に、意見交換の一部をご紹介します。

(意見の概要) 土地活用の方向性について

<活用イメージ>

- ・住宅
(戸建て住宅、共同住宅、ハイツ、併用住宅)
- ・業務・商業施設
(事務所、飲食店、中小規模の事業所)
- ・公共施設
(養護学校、役所関連施設)
- ・生活利便施設
(小売店舗、理美容などのサービス施設、診療所や鍼灸院)
- ・高齢者福祉施設
(サービス付き高齢者向け住宅、特別養護老人ホーム)

<留意点や課題>

- 地域特性に配慮した土地活用
 - ・閑静な住宅地のため、24時間営業の飲食店は不適切
 - ・鉄道利用者の増加につながる土地活用が必要
 - ・移住者にはごみの出し方や生活マナーを守って欲しい
- 交通インフラの活用
 - ・JR 厄神駅前駐車場(パーク&ライド駐車場)の充実
 - ・JR 厄神駅を、みとろフルーツパークやみとろ荘方面への玄関口としてはどうか
 - ・駅やインターチェンジに近い交通利便性を活かすべき
- 土地の現状と課題解決
 - ・崩れそうな空き家の撤去を検討したい
 - ・検討対象区域を拡大して、さらなる土地活用を検討してはどうか
 - ・かつての駅前商店街は、全て閉店してしまった
 - ・集落区域内に空き家が増えている



これらはアイデアで
実施を確定したものでは
ありません。

既存集落部分については、来年度(R7年度)以降に、
活用方法について検討していきます。

■次回以降の予定

[第2回] 船町・厄神地区田園まちづくり計画実現化会議

<日程> 2025年 **2月2日(日)**

<時間> **19時より** 約2時間予定

<会場> **船町公会堂**

<議題> ①「駅前活用区域」の活用方向の整理(活用イメージ、留意点など)
②実現に向けた取組の枠組みについて

第1回目に参加して
いなくても大丈夫です
ふりかえりから
はじめます



[第3回] 船町・厄神地区田園まちづくり計画実現化会議

<日程> 2025年3月1日(土)

<時間> 19時より 約2時間予定

<会場> 船町公会堂

<議題> ①実現に向けた取組の枠組みの整理
②田園まちづくり計画の見直し案について